

「駅前放置自転車等の現況と対策—平成30年度調査—」について — 調査結果の概要 —

1 駅周辺における自転車等の放置状況 【図-1】参照

都内の駅周辺（駅から概ね半径500m以内の区域）における自転車の乗入台数（放置台数と自転車等駐車場の駐車台数の合計）は624,678台、原付及び自二を含めた乗入台数は645,027台でした。

自転車の乗入台数のうち自転車等駐車場への駐車台数（実収容台数）は、**599,387台（96.0%）**で、残りの**25,291台（4.0%）**が路上などに放置されていました。

(1) 自転車、原動機付自転車及び自動二輪車の放置台数

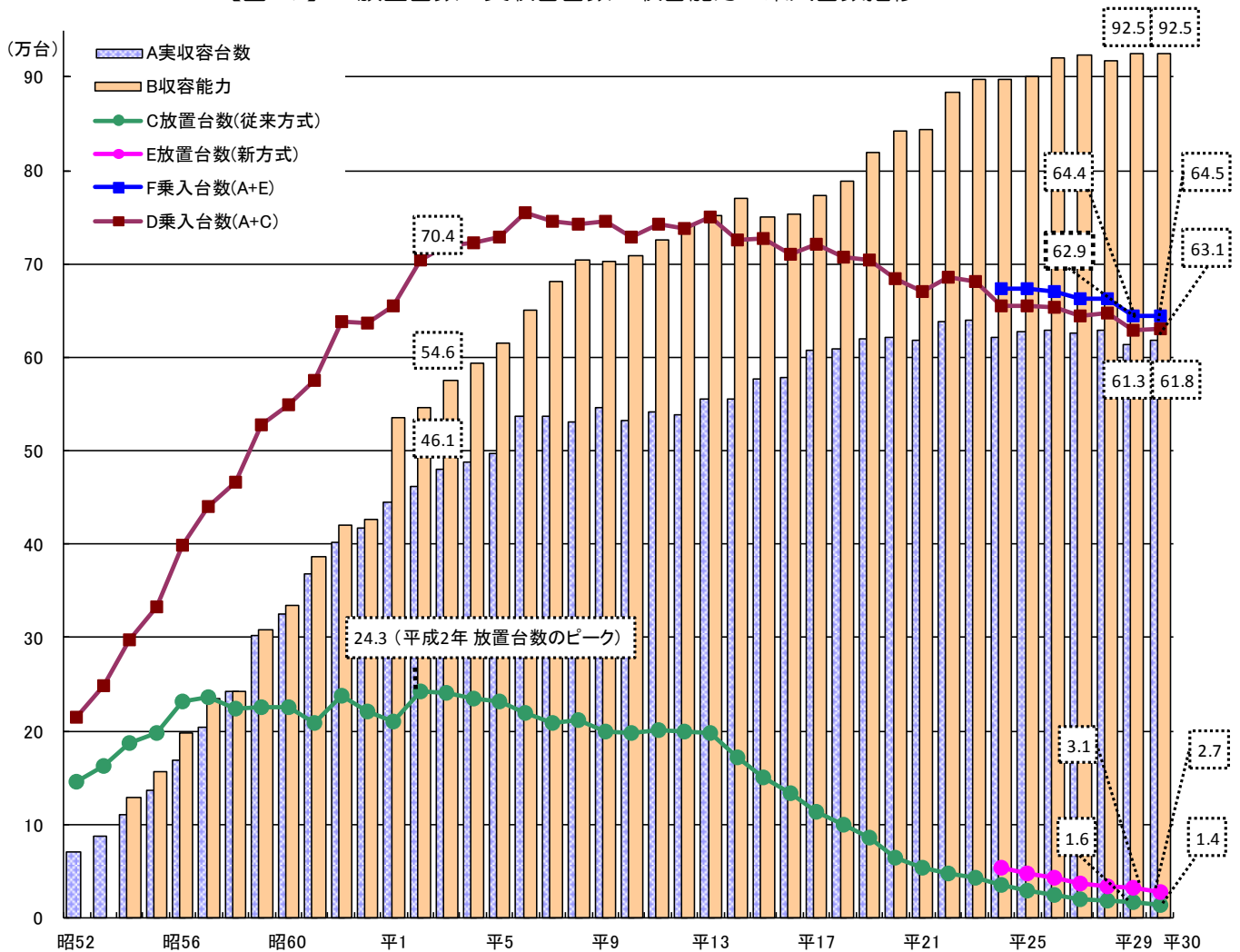
自転車、原付及び自二の放置台数は、**27,332台（前年度比 3,994台減）**でした。

うち、自転車の放置台数は、**25,291台（前年度比 3,665台減）**でした。

(2) 自転車の放置率（乗入台数に占める放置台数の割合）・・区部5.9%、市部0.9%、町村部0.4%

自転車の放置率が高い区は、千代田区54.7%、中央区37.1%、渋谷区30.0%、台東区27.3%、港区26.5%でした。

【図-1】 放置台数・実収容台数・収容能力・乗入台数推移



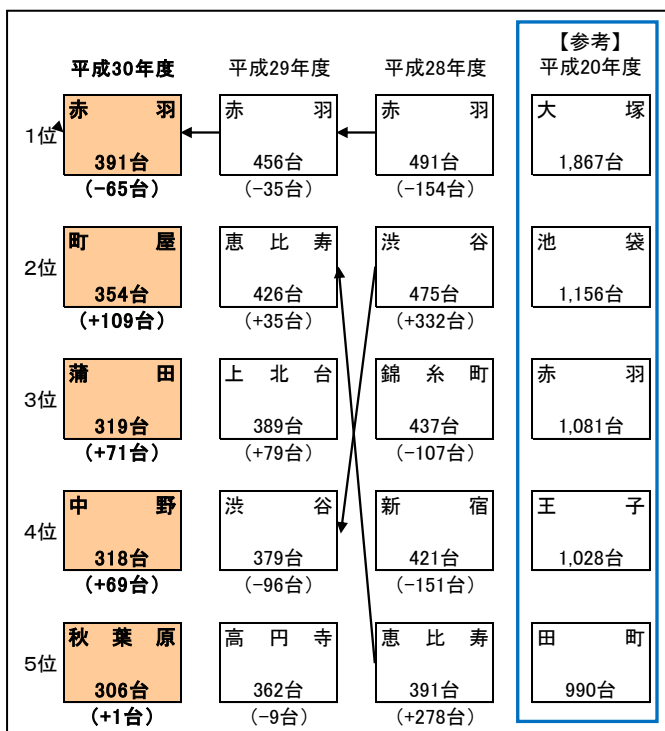
※ 昭和52年から隔年で国（現在は国土交通省）が全国調査を実施。全国調査が実施されない年は都が単独で調査を実施
 ※ C放置台数（従来方式）：自転車100台以上、原付と自二については合わせて50台以上のみを計上
 ※ E放置台数（新方式）：自転車、原付及び自二各1台から計上

2 放置台数が多い駅と乗入台数が多い駅

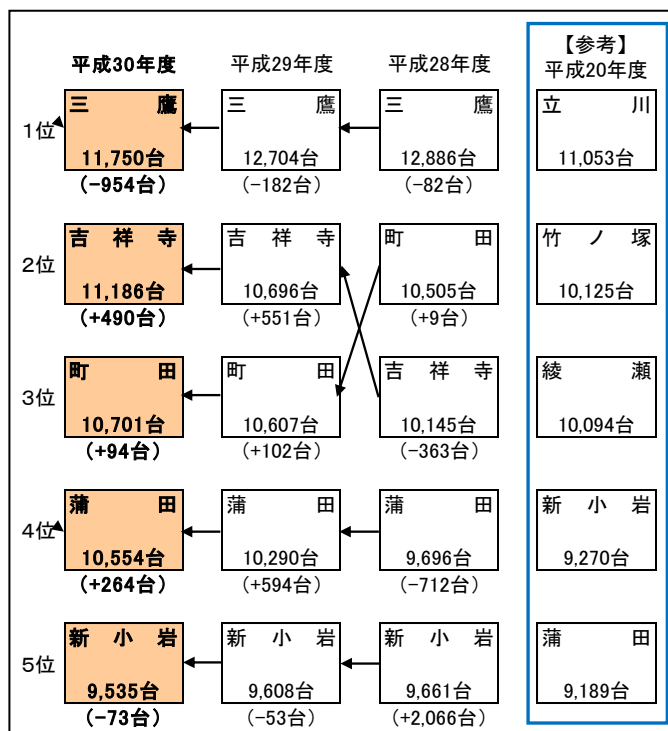
(1) 放置台数が多い駅 図-2 参照

(2) 乗入台数が多い駅 図-3 参照

【図-2】 放置台数が多い駅の推移



【図-3】 乗入台数が多い駅の推移



3 放置自転車等の減少に向けた主な対策

良好な交通環境を整備するとともに、街の美観を確保するため、区市町村をはじめ鉄道・バス事業者、警察、商工関係団体等と連携しながら、放置自転車対策に取り組んでまいりました。

その結果、放置自転車等の台数は過去最少の27,332台となりました。

(1) 自転車駐車場の設置等

駅周辺における適地の確保が困難なこともあり、平成29年度の自転車等駐車場の設置費（投資的経費）は、**31.2億円**（28年度比 **約26億円減**）でした。

(2) 放置自転車等の整理・撤去等

平成29年度の区市町村の消費的経費（放置自転車の撤去等に要する経費）は、**150.3億円**（28年度比 **約11億円増**）でした。

(3) 都心6区との協働体制

都内の駅前放置自転車の大部分を占める都心6区（千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区）を構成員とする放置自転車対策協議会を開催し、各区のノウハウや情報を共有することで、放置自転車対策の一層の推進を図りました。

(4) 駅前放置自転車クリーンキャンペーン

平成30年10月の「駅前放置自転車クリーンキャンペーン」では、都内各駅にて自転車の放置防止を呼びかける啓発活動のほか、駅構内などへのポスター掲出、ウェブ広告やデジタルサイネージを活用した広報活動を幅広く実施しました。また、キャンペーン期間中は、区市等による放置自転車の撤去活動がより推進されました。

- ・駅前等での広報啓発活動：227駅、延べ504日活動
- ・ポスター掲出枚数（都作成分）：約3万5千枚
- ・撤去活動：432駅

4 自転車等駐車場の設置状況 【図-4、5】参照

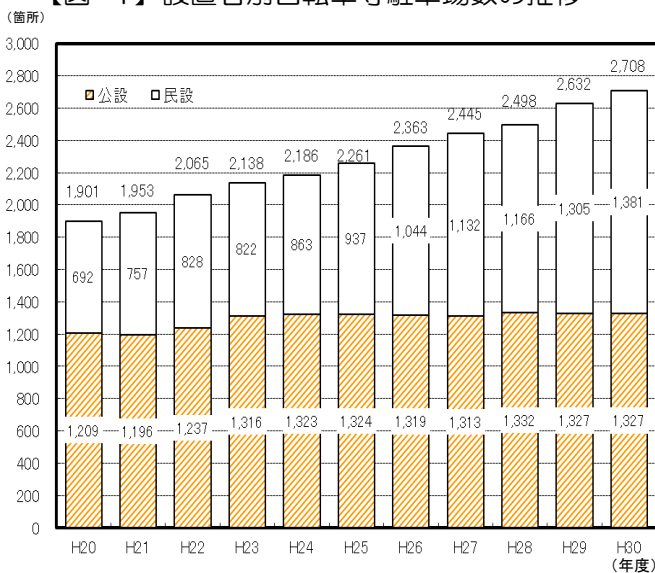
(1) 平成30年8月末日現在、駅周辺の自転車等駐車場*は、**2,708箇所**（前年度比**76箇所増**）でした。そのうち公設は**1,327箇所**（前年度同数）、民設は**1,381箇所**（前年度比**76箇所増**）でした。近年は、民間事業者による自転車等駐車場の設置が増加しています。

※ 不特定多数の者が利用可能なもののみ（来客用駐車場等は、特定の者のみ利用可能であるため調査対象外）

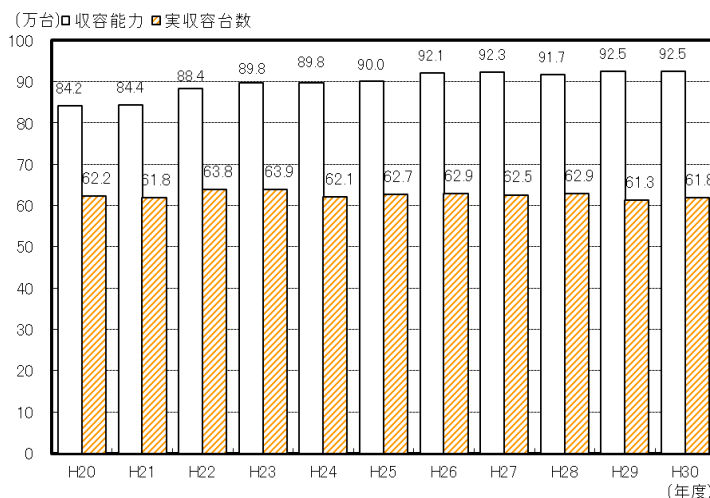
(2) 収容能力は、**925,484台**（前年度比**641台増**）、実収容台数**は、**617,695台**（前年度比**5,182台増**）でした。

※ 自転車、原動機付自転車及び自動二輪の収容台数

【図-4】設置者別自転車等駐車場の推移



【図-5】収容能力及び実収容台数の推移



5 平成29年度における放置自転車等の撤去、処分等の状況 【図-6、7】参照

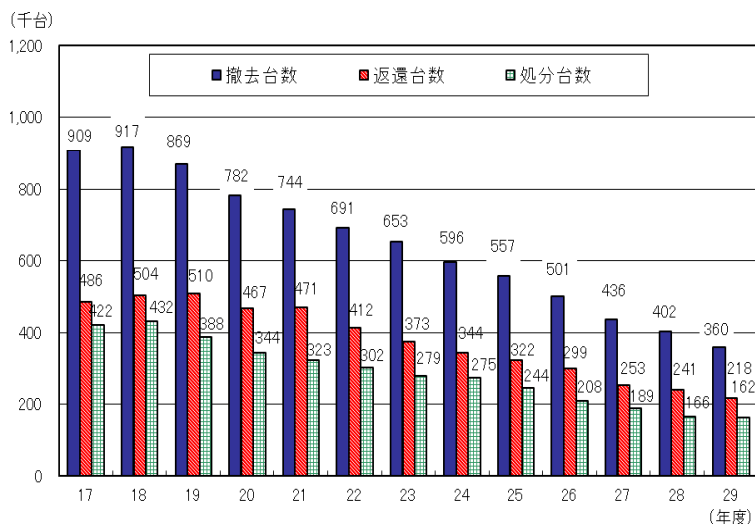
(1) 平成29年度に区市町村が撤去した放置自転車等：**359,826台**（28年度比**42,056台減**）

(2) 平成29年度に持ち主に返還された台数：**217,764台**（28年度比**23,336台減**）

(3) 平成29年度に区市町村が処分した台数：**161,645台**（28年度比**3,893台減**）

※ 返還台数、処分台数には、平成28年度中に撤去されたものを含みます。

【図-6】放置自転車等の撤去・返還・処分台数の推移



【図-7】撤去自転車及び原動機付自転車の処分内訳

- ・廃棄処分 (A+B)：34,248台 (21.2%)
- ・鉄くずとして資源活用 (C+D)：14,859台 (9.1%)
- ・リサイクル用途 (F+G)：112,538台 (69.6%)

